

贈ることば

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。

今日でお別れかと思うと悲しさでいっぱいですが、私たち在校生の胸には、皆様と過ごした大切な時間が心にとっても残っています。

部活動。先輩方は常に高い目標を掲げ、それに向けて一生懸命練習に取り組んでいらっしゃいました。試合に臨む威風堂々たるその姿からは、みなぎる気迫を感じ、息を呑んで勝負の行方を見守った覚えがあります。また、技術面だけでなく、仲間や保護者、道具などに感謝の気持ちを忘れないなど大切なことを教えてくださいました。それらを、私たちは決して忘れずしっかりと受け継いでいきます。

体育祭。声を張り上げ、仲間を励まし、心を一つに競技に向かう姿には「さすが、三年生！」と思わずにはいられませんでした。上柴中学校の伝統行事である「上中ソーラン」、日々の練習の成果を存分に発揮し最高の演技に導いてくださいました。

音楽会。クラス合唱もさることながら、学年合唱が印象的でした。重なり合った美しいメロディーや学年の団結力は在校生の私達にはとても真似できない、とてつもないパワーを感じました。今日「虹」を再び聴かせていただけること、とても楽しみにしていましたがそれが叶わず残念でなりません。

次は私たちが上柴中学校の中心となって学校を引っ張っていく番です。しかしまだまだ不安はありますが、そんな時こそ、先輩方の背中を見て学んだことを生かして今後につなげていけるように在校生全員力を合わせて精進していきます。

皆様もこれから沢山の困難にぶつかることでしょう。辛い時、苦しい時は上柴中という自分の母校を思い出して下さい。きっと数えきれないほどの思い出の一つ一つが、先輩方を支える原動力となるでしょう。上柴中はいつまでも、これからも皆様のことを全力で応援しています。自分の母校「上柴中」に誇りをもって、これからの時間を大切にして下さい。皆様の健康とますますのご活躍をお祈りし、「贈ることば」と致します。

令和二年 三月十四日

在校生代表 菅澤伶南